



あしらい



麴町消防団だより



### 麴町消防団始式

第一分団 三浦 裕介

令和五年一月八日(日)十四時より、麴町消防団始式が執り行われました。今回の始式には千代田区長及び本団をはじめとして、第一分団、第二分団、第三分団と総勢100名もの団員が参加しました。私達、麴町消防団員は、管轄地域の地理と情報を知る仲間が大勢います。

これからも未来の千代田区の地域を護る身近な要として、様々な災害の防災と減災に努めて参ります。

### 麴町消防団始式表彰者

◎東京都消防褒賞

〈功績表彰 伝達〉

団本部 分団長 山田 佳幸

◎消防総監表彰

〈功績表彰〉

第一分団 分団長 松坂 洋介

〈優良表彰〉

第一分団 班長 中島 崇

第一分団 班長 茂木 泰彦

第二分団 班長 山田 豊隆

第一分団 団員 岩淵 規

◎千代田区長表彰

〈三十年永年勤続功労〉

第一分団 部長 小森 実志

〈十五年永年勤続功労〉

- 第一分団 副分団長 荻原 弘樹
- 第二分団 副分団長 丸山 征治
- 第一分団 部長 遠藤 史雄
- 第二分団 部長 鴨下 達也
- 第三分団 部長 中村 和博
- 第二分団 部長 中澤 昌弘
- 第一分団 部長 脇本 慶太
- 第二分団 部長 松澤 友美

〈十年永年勤続功労〉

- 第一分団 班長 水越 舜瑛
- 第二分団 班長 中島 崇
- 第一分団 団員 佐藤 祐貴
- 第一分団 団員 中島 大二郎
- 第一分団 団員 田口 純子
- 第二分団 団員 遠藤 伸也

〈五年永年勤続功労〉

- 第二分団 班長 達下 幸治
- 第三分団 班長 濱田 雅彦
- 第一分団 団員 三浦 裕介
- 第一分団 団員 荻原 圭司
- 第二分団 団員 金子 修平
- 第二分団 団員 尾花 拓海
- 第二分団 団員 菅井 美妃
- 第二分団 団員 藤田 将太郎
- 第二分団 団員 中島 悠希
- 第一分団 団員 小野 名利子

◎消防署長表彰

〈勤務成績優良〉

- 第二分団 班長 達下 幸治
- 第三分団 班長 濱田 雅彦
- 第一分団 団員 三浦 裕介
- 第一分団 団員 荻原 圭司
- 第二分団 団員 金子 修平
- 第二分団 団員 尾花 拓海
- 第二分団 団員 菅井 美妃
- 第二分団 団員 藤田 将太郎
- 第二分団 団員 中島 悠希
- 第一分団 団員 小野 名利子

◎消防総監感謝状

〈四十年永年勤続消防団員家族感謝状〉

- 団本部 副団長 石井 利之
- ご家族 石井 みさ子 様

◎消防署長感謝状

〈十五年永年勤続消防団員家族感謝状〉

- 団本部 副団長 和栗 栄一
- ご家族 和栗 雅子 様
- 第二分団 副分団長 丸山 征治
- 第一分団 副分団長 丸山 由紀子 様
- ご家族 遠藤 史雄
- 第一分団 部長 遠藤 史雄
- 第二分団 部長 江原 治子 様
- ご家族 鴨下 達也
- 第二分団 部長 鴨下 達也
- ご家族 中村 和博
- 第二分団 部長 中村 和博
- ご家族 脇本 慶太
- 第二分団 部長 脇本 慶太
- ご家族 鈴木 美幸 様
- 第三分団 部長 鈴木 美幸 様
- ご家族 鈴木 伸幸 様
- 第三分団 部長 鈴木 伸幸 様
- ご家族 鈴木 愛子 様



文化財防火デー消防演習

- 第三分団 部長 中澤 昌弘
- ご家族 天野 依舞 様
- 株式会社 ナカノフドール建設 様

令和五年一月二十六日（木）、文化財防火デーに伴う消防演習が千代田区指定文化財の一つである日枝神社にて行われました。貴重な文化財を守るといふ文化財愛護と防災意識の高揚を目的とするもので、神職による文化財の運び出しや初期消火の活動後、境内において廻町消防署隊、廻町消防団が連携し一斉放水を実施しました。

廻町消防団は、今年も廻町消防署と連携し、防火防災を担う存在として、地域の安心安全の確保に努めてまいります。

## 東京都消防団操法大会出場

第二分団 那知 由似

令和四年十一月五日（土）東京消防庁消防学校にて、第五十回東京都消防操法大会が行われた。東京都内九十八の消防団から代表の二十七消防団が参加し、日頃の仕事・学業・子育ての合間に訓練した成果を確認するとともに消防活動技術の向上及び消防団員の士気高揚を図ることを目的として開催している。天気にも恵まれ大きく息を吸えば気持ち引き締まる。麴町消防団は六番目に実施した。普段とはあまりにも違う空気、視線を感じる中で仲間の団員達が観客席最前列で横断幕を広げ、うちわやボンボンを持ち声援を送る。コロナ禍で従来の練習が出来ない中でそれでも有志が集い麴町消防団として最年少で挑む選手、大きな希望を望みながらも温かく見守り、時には厳しかった先輩をはじめ、仲間達が一致団結して挑んだ本番であった。結果は惜しくも入賞は叶わなかった。

しかしながら、会場に響く麴町消防団の声援は、他の消防団の士気にも繋がったようだ。会場をあとにする際、「元気だったね!」「麴町良かったよ!」など声をかけてもらった。麴町消防団の結果だけ見れば良いものとは言えないけれど、大会が開催される目的としてなら間違いなく優勝だと思う。麴町消防団全体で挑んだその過程が、今後の消防団活動でもより良い活動に繋がるだろう。



## 千代田区消防団合同点検

第三分団 藤井 敏郎

令和四年九月十七日(土)、千代田区消防団合同点検が実施されました。実施項目は規律訓練、倒壊建物を想定した救出救助及び搬送訓練、可搬ポンプ積載車を活用した消火訓練でした。私の任務は倒壊建物から負傷者として救出される要救助者役でした。思えば三年前の合同点検もこの役目で、おおよその動きは分かっていたのですが、消防署の指導もあり、スムーズに役目を行う事ができました。

また、救護活動をされた第二分団の方々は非常に迅速な活動をされており、大変勉強になりました。今回は訓練でしたが、実際の現場となった時に自分がこのような行動を起こせるか不安ですが、消防団員として率先して動かなければと思いましたが。先輩方々同様に、私も早く役に立てるよう日頃から精進していきたいと思えます。全ての訓練が終了し、点検者である東京消防庁救急部長からも心温まる講評を頂きました。

コロナ禍の中、神田、丸の内、麴町消防署の方々と行事らしい行事を久しぶりに行えた事、今更ながら自分が消防団の一員である事を感じさせられる時間を過ごせました。



わが街を守る

麴町消防団員募集!

★あなたの力が必要です!★

麴町消防団は消防団員を随時募集しています。入団条件は、十八歳以上の心身ともに健康な方で、千代田区に居住、または勤務、通学している方であれば、どなたでも入団することができます。入団を希望する方や詳しく話を聞いてみたい等、少しでも興味のある方は、ぜひ左記QRコードからアクセスいただくか、電話番号からご連絡ください。皆さんの入団をお待ちしています!

【麴町消防団ホームページ】



<https://koujimachisouboudan.com>

《問合せ先》

麴町消防団事務局(麴町消防署内)  
電話 3264-0119 (内線320)

編集..麴町消防団  
後援..麴町防火防災協会